

バレーボールサークル予算の件

令和4年6月27日
朝霞第七小学校
父母と先生の会

バレーボールサークルへの予算枠設定継続について

総会でご質問頂きました、

"直接的に子どもたちのための活動とは言えないバレーボールサークルに、PTA予算が割り当てられている経緯を知りたい"

につきまして、今後のPTA予算編成の方針と併せ、経緯をご説明申し上げます。

まず結論としましては、

学区内の交流、保護者と先生の交流、大人たちの真剣な姿を子供たちに感じてもらう機会、チームスポーツの良さを知ってもらう機会を作るという意味合いから、今後もPTAとしてバレーボールサークルを応援していきたい、予算を継続していく所存です。保護者の皆様のご理解ご支援をあらためてお願い致します。

歴史を辿ると、昔は朝霞市PTA連合会(以下、市P連)とバレーボール連盟で大会を開催していました。その名残で各校にバレーボールチーム(サークル)が存在しています。

七小バレーボールサークルは、令和元年に準優勝、令和2~3年はコロナ禍のため大会が行われておりません。

市P連が関わらなくなっからは、五小や三中の例を挙げますと、学校に大会への出場案内が来て、学校からPTAに相談があるようです。

朝霞市と、朝霞市PTA連合会、各校単体PTAは、協力して地域の活性化を図り、スポーツや文化活動などを盛んにしていこうということかと思われまます。

今回の調査では、市P連が関わらなくなった経緯までは分かりませんでした、そこは単体PTAで応援を続けたいところです。

親御さんや先生方がスポーツを通じて、健康の増進、円滑なコミュニケーションを図ることは、間接的かも知れませんが、子どもたちの健やかな成長の土台となるもので、少なからぬ影響があるかと思ひます。

どうか皆さまの温かいご支援を今後とも賜りますようよろしくお願い申し上げます。